12
-中・西部-

新田 由佳（にった ゆか）

脱毛サロンKiWi オーナー

応募のきっかけは？

鹿児島県出身で、26歳くらいから5年ほど神奈川県で暮らしました。下関市出身の夫と結婚し子どもが生まれ、その頃、子どもが犠牲になる事件や治安上の不安があり、関東で暮らし続けることが想像できなくなってきました。

また、夫は東日本大震災を経験しており、山口県へのUターンを希望していました。

宇部市を選んだ理由は？

子育て環境や医療の充実、発展の可能性やビジネスチャンスがあると感じました。

隊員時代：イベント会場

着任してみて、想像と違っていたことはありましたか？

着任地は「すごい田舎なのかな」「車がないと難しいかな」と、どんなところかと不安に思っていましたが、街へは車5分で行けました。いい意味で田舎なのに便利でした。

隊員時代の思い出を教えてください

「なんでもやってみよう」と校区のふるさと祭り（収穫祭）に参加し、協力隊の名前で「たちくま米工房」の米粉で米粉入りピザを販売しました。楽しかったし、つながりも生まれました。

米粉入りピザ

大変だったことは？

最初、何をしたらいいかわからず、中山間地域支援員6名と一緒に行動させてもらいました。半年から一年近く、地域の中心となる方を教えていただきました。

「地域にとって何をしたらいいか」を考えすぎたことで、期待を感じてしまい、それに応えられない焦燥感がありました。「言われるままに活動しているのかな」「農家との接点をいかして商品開発をしたら喜ばれるかな」といろいろな思いがありました。

現在、そしてこれからについて

任期中、もやもやしている様子を見かねて、友人が美容展示会へ誘ってくれました。そこで、介護脱毛について知りました。

脱毛について調べると、奥が深く、「自分らしいサロンで何ができるのか」と感じ始め、「サロンを作りたい」と思うようになりました。ほど良いサービスを追求して、通いやすいサロンを目指し、お悩みを解決するお手伝いをしたいと思っています。

協力隊を目指す人や後輩への伝えたいこと

受入先の自治体と自分のやりたいことのマッチング、すり合わせが大事です。任期中、自分の目標を実現する勢いで活動してほしいと思います。

新田 由佳（にった ゆか）さん

協力隊として

| 着 任 地 | 宇部市
| 活動期間 | 2016年1月～2019年3月
（2017年9月～2018年7月育児等休暇）
| 活動内容 | 特産品開発や直売所開設等のビジネス化の支援

現在の仕事

脱毛サロンKiWi オーナー
| ホームページ |
https://9001-kiwi.shopinfo.jp/

サロンルーム

新田さんのあゆみ

- 2015. ライフプランを考え始める
- 2016.01 協力隊着任
- 2017.10 出産
- 2019.03 協力隊卒業
- 2019.06 起業準備
- 2020.02 開業